

はなの輪

広島市植物公園植物友の会

2026年1月－3月 通巻第186号



園長のおすすめ 2025年2月25日号より

マツバラシ *Psilotum nudum* (L.) P.Beauv.

多肉植物などの鉢に、マツバラシが1～2本生えているのを見かけませんか？植物公園ではサボテン温室やバックヤード、入り口周辺のクスや岩などに自生しています。

マツバラシ科のシダ植物で、熱帯地方と日本の中部以南に分布します。葉も根もなく、茎しかない植物です。大きなものは30cmほどで、茎の上の方で2又に分枝します。シダ植物なので花は咲かず、胞子のうと呼ばれる丸いものが多く付きます。この胞子が拡散することで増えていきます。

江戸時代には、枝変わりや斑入りなど変わりモノを集めた「松葉蘭譜」なる専門書があったようで、その中には120種ほどの栽培品種があったとか。

(園内位置：サボテン温室ほか園内各所)

[写真・文 永井 親雄]

大温室内のカカオの木に小さな実がついています。通路沿いの2本の木に1～2cmくらいのものが10個ほどついています。この実が大きくなるまでには約6カ月かかります。

生産地のカカオの受粉はヌカカやタマバエの仲間といった体調1～3mmの虫が行っていますが、植物公園の環境ではこれらの虫の助けが借りられないので、職員が人工授粉を行うことで実をつけさせています。

カカオの花をよく見ると中心に茶色のとがったものが見えますが、これは仮雄しべと言われるものでこの中心に白っぽい雌しべがあります。また、雄しべは花弁の中に隠れているので、人工授粉を行うときには、花弁を取ってから雄しべを雌しべに触れ合わせることで受粉させることができます。

カカオの原産地は熱帯アメリカですが、生産量が多いのは西アフリカのコートジボワールやガーナとなっています。

2023年秋ごろから、カカオの主要生産地である西アフリカで、干ばつや豪雨などの異常気象やカカオの木の病気による枯死のため、生産量が減少し、国際的なカカオの価格が上昇しており、円安の影響もあって日本でのチョコレートの価格が上がってきています。

カカオは北緯20度から南緯20度の「カカオベルト」と呼ばれる地域で栽培されていますが、地球温暖化の影響で今後この地域での異常気象の発生が多くなり、カカオの生産量が減少していくと予想されています。

このため、カカオを使わない代替チョコレートが開発が行われており、ゴボウやヒマワリ油を使った代替チョコレートが市販されています。

ゴボウの代替チョコレートは最近になって、イオン系列のスーパーマーケットでヒマワリ油の代替チョコレートの横に見かけましたが、まだ食べていません。

ヒマワリ油の代替チョコレートはスーパーマーケットで販売されていたので、購入して食べてみましたが、チョコレート風味の中にナッツっぽい味（ヒマワリ種の味かな？）を感じました。見た目はチョコレートにしか見えないので興味のある方は探してみてください。

[写真・文：竹本 香織]



写真1 カカオの小さな実



写真2 カカオの花

2026年1月～3月 展示会・イベント案内

2/1 (日)
～ 2/15 (日)

バレンタイン フェア

バレンタインデーに因んで、「99本のバラの花束」
との記念撮影(14日)や切り花プレゼント(11日、
14日、15日午前9時～、各日先着100人)のほか、カ
カオやチョコに関する様々な催しを企画しています。

2/21 (土)
～ 3/1 (日)

春の特別ラン展

今年のテーマは「開園50周年記念」、大温室
を中心にランで華やかに彩ります。会期中は、
愛好団体による洋ラン販売と栽培相談も実施
します。2月27日(金)は臨時開園します。

3/20 (金・祝)
～ 4/19 (日)

さくらまつり

芝生広場では、約70品種250本の桜が1か月かけ
て次々と開花します。期間中は週末を中心にコ
ンサートや桜観賞会などのイベントを行います。

展示会のご案内

新春小品盆栽展	共催：広島小品盆栽会	1/ 4～1/ 6	展示資料館
冬の鉢花展		1/ 7～2/ 1	展示温室
植物写真コンテスト作品展		1/10～2/18	展示資料館
広島市植物公園写生大会入賞作品展	協力：佐伯区地域起こし推進課	1/17～2/15	展示資料館 ロビー
おもと名品展	共催：日本おもと協会広島県支部	2/ 4～2/11	展示温室
フラワーデザイン展	共催：日本フラワーデザイナー協会広島県支部	2/21～2/27	展示資料館
ゼラニウム展		3/ 7～4/12	展示温室
「草木染の世界」展	共催：広島草木染の会	3/14～4/ 9	展示資料館



新春小品盆栽展



「草木染の世界」展

Event Information 2026 1-3

植物公園で開催されるイベントを紹介します

1 月

小品盆栽実演会（先着100名程度）
1月4日（日）午後1時半～2時半

野鳥観察のすすめ（先着40名程度）
1月12日（月・祝）午前10時半～正午

2 月

おもと実演会（先着20名程度）
2月8日（日）午後1時半～2時半

**明治食育セミナー「発見！チョコレート
のひみつ」**（先着100名程度）
2月11日（水・祝）午後1時半～2時半

**絵本「ひと粒のチョコレートに」の朗読と
チョコレートづくりの体験**（先着100名程度）
2月14日（土）午後1時半～3時

フラワーデザイン実演会（先着各回50名程度）
2月22日（日）
午前11時～、午後1時半～

ランの小さなフラワーアレンジメント体験会
（先着合計20名、各回30分程度、材料費500円）
2月23日（月・祝）午前10時～正午

洋ラン実演会（各日先着20名程度）
2月23日（月・祝）・28日（土）
各日午後1時半～2時半

* イベントの内容は、一部変更になる場合があります。
最新情報はホームページ・電話等でご確認ください。

3 月

洋ラン実演会（先着20名程度）
3月1日（日）午後1時半～2時半



洋ラン栽培講習会（各日先着100名）
3月14日（土）・15日（日）
午後1時半～2時半

しいたけ栽培講習会・菌打ち体験会
（ホダ木が無くなり次第終了、1本800円）
3月20日（金・祝）午前10時～午後3時

「草木染の世界」展ギャラリートーク
（先着20名）
3月22日（日）午前11時～正午

- * 2月7日（土）午後2時～、5-Daysこども文化科学館アポロホール（250人収容）にて研究活動発表会を実施します
- * 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内しています
- * 1/10、1/27、2/7、2/24、3/7、3/24 各日午前11時～は、園内で職員による植物うんちく語りを実施しています
- * 1月11日（日）・3月8日（日）午後1時20分～3時は、植物友の会例会を実施します（要入会、年会費無料）

◇募集◇ ※往復ハガキに催し名・住所・氏名・電話番号（・希望回）を記入してお申込みください。
植物公園のホームページ（Web申込のQRコード）からもお申込みいただけます

催し名・日程	内容等	定員	締切	Web申込
ショコラミルによるチョコ製造体験 2月15日（日）11:00～正午、13:30～14:30	チョコレート作り専用石臼「ショコラミル」によるチョコレート作りを体験します。	各回10組 （抽選）	1月29日 【必着】	
子ども織物教室 3月22日（日）13:00～14:00、15:00～16:00	小さな織機を使って、オリジナルの織物マットを作成します。 対象：小学生とその保護者 材料費：500円	各回10組 （抽選）	3月4日 【必着】	

春の特別ラン展の装飾 Decoration of special orchid exhibition



春の特別ラン展（2/21～3/1）では、色とりどりの洋ランの鉢植えや切り花を活かして、毎年趣向を凝らした装飾を作成しています。今年は、開園50周年を迎える年ということで、過去に好評を博した展示をモチーフに、華やかな装飾を再現します。ご期待ください。

おもと名品展 Omoto (*Rohdea Japonica*) exhibition



展示風景（会場：展示温室）



臨時売店（おもと苗の販売）



弥山



鶴の舞



春雪



麒麟冠

おもとは日本原産の植物で、一年を通じて常緑の葉を保つことから、「万年青」の漢字が当てられます。江戸時代に観賞植物として流行し、様々な葉芸（はげい：葉に現れる特徴的な変化）を楽しむことができる園芸品種が見出されました。おもと名品展（2/4～2/11）の会場では、日本おもと協会広島県支部の会員が丹精込めて育てた鉢を展示し、あわせて苗の販売も行います。

1月～3月に見ごろを迎える植物



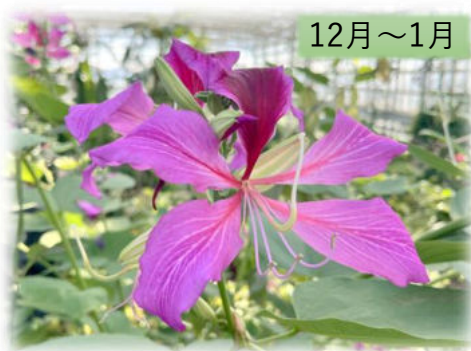
1月下旬～2月

アイスチューリップ
(カスケード)



冬～春

ストック
(カスケードほか)



12月～1月

オオバナソシンカ
(大温室)



12月～2月頃

ウナズキヒメフヨウ
(大温室)



1月

カランコエ 'ちゅららイエロー'
(展示温室)



3月～4月

ゼラニウム
(展示温室)



2月

カランコエ 金卵
(サポテン温室)



2月下旬～3月上旬

セツブンソウ
(ロックガーデン)



1月

寒ボタン
(日本庭園)



3月上旬

ウメ '藤牡丹枝垂れ'
(日本庭園)



12月～3月

ハルサザンカ '笑顔'
(ツバキ園)



1月～2月

ロウバイ
(芝生広場奥)

冬は、受粉を助ける動物や昆虫の活動が緩慢になるため、屋外で花を咲かせる植物は少なくなります。ですが、ツバキやロウバイなど寒い中で頑張って咲く花もあり、寒空によく目立ちます。また、熱帯の植物を展示する温室では、真冬でも見頃の花を暖かい部屋の中で観賞できます。[写真・文：久保 晴盛]

Plant Doctor Q&A

植物公園では、緑の相談窓口を設置しています。
家庭園芸のお困りごと、何でもご相談ください。
[☎082-922-3600 金曜を除く午後1時～4時]

Q. 熱帯スイレン温室のオオオニバスの近くで、花茎の長い大きな花が咲いています。花卉が丸みを帯び、碗状の花型をしているので、ハスのなかまでしょうか？

A. お尋ねの植物はアネクフィア亜属というグループの熱帯性スイレンかと思われます。この亜属のスイレンはオーストラリアやニュージーランドに分布しています。花茎が長く、一般的な熱帯性スイレンとは異なり花卉が丸みを帯び、碗状の花型をしているので、ハスの花に見間違えられることもあるようです。

大株に育ち、安定した高水温を好み、水深や日照といった環境の変化にも弱いため、栽培の難易度は高いといえます。しかしながら、生育に勢いがつくとスイレンのなかでも多花性かつ大輪花を咲かせるという特徴があります。



写真 アネクフィア亜属の熱帯性スイレン

[写真・文 西内 良]

Q. 庭で育てているアジサイの枝が突然倒れていて、根元の方を見ると、白い粉くずがついていました。何か害虫の仕業でしょうか？

A. おそらくキクイムシかコウモリガの幼虫による食害だと思われます。

これらの害虫は、5～6月に発生してアジサイの幹や枝に小さな穴を開けて侵入し、内部を食害します。食害された幹や枝は内部が空洞になり、葉が急激に萎れ、侵入された箇所には白い木くずが見られます。主に株元に集中して食害が見られますので、他の枝に移らないように見つけ次第捕殺するか、あるいは食害が

あった枝を切り取ってください。株元に落ち葉が溜まっていたり、雑草が多いと被害に遭いやすいので、株元をきれいにしておくことである程度予防することができます。ちなみに、コウモリガについて適用のある殺虫剤はありません。キクイムシでしたら、市販のエアゾールタイプの殺虫剤を使用してください。



写真 コウモリガの幼虫に食害された枝

[写真・文 堀川 大輔]

Q. 腐葉土を作るために雑木林の落葉を掃き集めていたら、地面に落ちたどんぐりに根が生えているのに気づきました。葉はないですが、この状態で生きていけるのでしょうか？

A. 春になり暖くなれば芽を伸ばし、葉を展開しますので、ご安心ください。どんぐりは種類によって落ちた年のうちに根を出すものと、翌春になって根を出すものがあります。広島市周辺の雑木林に多いコナラやアベマキはいずれも秋から冬にかけて根を出すタイプです。春に根を出すタイプには、公園に植栽されることが多いシラカシやマテバシイなどがあります。



写真 根を出したコナラのどんぐり

[写真・文 井上 尚子]



アート展のオープニングイベントを開催しました

アート展「Hibakujumoku — the trees in a community — Kikyo 帰郷」は、ノルウェーのアーティストたちが、被爆樹木やその種・苗をテーマに制作した写真、ビジュアルアート、サウンドアートなどを展示し、被爆樹木が語る物語に触れられる内容となりました。

そして、11月8日の開催初日にオープニングイベントを行いました。ノルウェーのアーティストたちや駐日ノルウェー大使も出席し、会場は終始にぎやかな雰囲気になりました。展示会場となった森のレストランと香りの小径には数多くの作品が並び、すばらしい空間が創り出されました。

また、11月16日（日）には、10:30～と11:30～の2回にわたり、本の読み聞かせボランティアグループ「ぐるんぱ」の協力で絵本の読み聞かせイベントを開催しました。『ICAN 希望の花の物語』『パンフルートになった木』『被爆樹木の絵本 きっときこえるよ』の3冊が紹介され、12名の参加者がアートに囲まれた会場で絵本の世界を楽しみました。

[写真・文 大下 正勝]



歓迎あいさつ

荒瀬 尚美 （公財）広島市
みどり生きもの協会理事長



概要説明（プロジェクト背景紹介）

左：鈴木 雅和 筑波大学名誉教授
中：中 英公子
右：中 ケビン公威



アート展会場（香りの小径）



開会宣言

クリスティン・イグルム
駐日ノルウェー大使



アーティスト

左：ジョン・デレク・ビショップ
中：ヘレーネ・エスベダール＝セルヴォーグ
右：アシュリー友実子



記念撮影



広島市植物公園

広島市佐伯区倉重三丁目495

☎ 082-922-3600 📠 FAX 082-923-6100

■開園時間 午前9時～午後4時半（入園は4時まで） ■休園日 毎週金曜日
■入園料 大人510円、高校生および65歳以上170円、中学生以下無料
■駐車料 軽・普通自動車450円、中・大型車1,400円

